



両神山の「弘法之井戸」横に設置されたコノハズクの看板（県生態系保護協会提供）

「ここは僕らのすむ森です」

両神山の動物看板に

県生態系保護協会（さいたま市）は小鹿野町の両神山（1723㍎）で、同山に生息する動物の写真が入った看板を設置した。

同協会は水源地である両神山の森を守るため、日本ナショナル・トラスト協会（東京都）と共同で2015年9月に約1230㍎の森を取得している。10月4日から今月1日にかけて、日向大谷の登山口から山頂までの登山道に沿ったトラスト地と隣接地の計3か所に、両神山に生息するクマタカやコノハズク、ニホンカモシカの写真入りの看板を設置した。

看板には「ここはクマタカのすむ森です」「このすばらしい自然は、すべての人々の財産です」などのメッセージも記されており、会の担当者は「美しい両神山の自然と、水源の森を買い取って守るトラスト活動を多くの人が知ってほしい」と話している。